

英語	課題分析 (学力調査結果、定期考査、授業の実態等)	授業改善策	新学習指導要領に向けて (移行措置対応を含む)
1年	<p>【活用する力について】 ○基礎基本が定着していない。 ○活用する力弱い。</p> <p>【語彙力について】 ○音と文字の関係があいまいな生徒がいる。 ○語彙数が少ないので、定着・活用する力が弱い。</p> <p>【表現力について】 ○小学校から取り組んでいる英語活動の内容をさらに発展させる場面が少ない。</p>	<p>【活用する力について】 ○基礎的な事項の読む、聴く、話す、書く活動を繰り返し行い、定着を図る。小テストを行い、定着を確認する。</p> <p>【語彙力について】 ○アクティビティを通して多くの語彙にふれさせる。会話したり、書いたりする中で音と文字の関係に気付かせる。</p> <p>【表現力について】 ○少人数指導の利点を生かし、ペアや個人の表現、発表の機会を増やす。ALTと協力して楽しく表現させる機会を多く設ける。</p>	<p>【アクティブラーニングについて】 ○ペアやグループでの活動を多く設け、発話機会を増やすとともに、助け合い教えあう形の対話的な授業を行う。</p> <p>【小学校での英語教科化についての対応】 ○小学校で学んだ語句を授業に取り入れ、復習と定着を図る。移行措置対応として不足している語彙を1年生の授業で補えるようにする。</p>
2年	<p>「児童・生徒の学力向上を図るための調査(令和元年7月)」の結果より</p> <p>【活用する力(外国語表現の能力)】 ○東京都の正答率よりは高いが、自分の感想や気持ちを表現する英文を書く問題の正答率が低かった。</p> <p>【外国語理解の能力】 ○長文のメールを読み取り、それに対する答えの内容を選ぶ問題の正答率が低かった。</p> <p>【言語や文化についての知識・理解】 ○会話の内容を理解した上でそれに対する答えを選ぶ問題の正答率が低く、得た情報をコミュニケーションにつなげさせることが課題である。</p>	<p>【活用する力(外国語表現の能力)】 ○既習の文法事項を活用して、問題解決等を含む活動を充実させる。スピーチやスキットなどの発表活動で、スパイラルに学習させる。</p> <p>【外国語理解の能力】 ○長文読解の際に、5W1Hなどを意識させ、大まかに内容を理解させる。また、意図的に指示語に関する質問を行い、意識付けを行っていく。</p> <p>【言語や文化についての知識・理解】 ○Q&Aやチャットをペアで行い、生徒の英語での発話量を増やしていく。スピーチの際に、質問タイムを設ける。</p>	<p>【主体的な学び】 ○既習の語彙・文法事項を自らの経験や興味につなげていけるよう使用教材を精選する。</p> <p>【対話的な学び】 ○ペアやグループでの活動を通して生徒同士の学び合いを推進する。自分の経験や気持ちを表現し、伝え合う活動を行う。</p>
3年	<p>「全国学力・学習状況調査(平成31年4月)」の結果より</p> <p>【活用する力(外国語表現の能力)】 ○資料を読んだり聞いたりした上で自分の意見を書いて表現するような、2技能以上を活用して解決する問題の正答率が低い。特に、与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題は全国、東京都の正答率よりは高いが、他の問題より正答率が極端に低かった。</p> <p>【外国語理解の能力】 ○読解の問題の中で、まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解する問題は正答率が半分以下であった。</p> <p>【言語や文化についての知識・理解】 ○与えられた情報に基づいて、適切な時制を選び、正確に答える問題の正答率が50%前後であった。</p>	<p>【活用する力(外国語表現の能力)】 ○単元ごとに、題材を読んで自分の意見を書いたり発表する機会を増やす。</p> <p>【外国語理解の能力】 ○まとまりのある文章を自力で読む機会を設定し、読解力をつける。5W1Hや文章の主題を読み取る課題を提示し、書き手の意図を意識しながら読むことができるよう意識をさせる。</p> <p>【言語や文化についての知識・理解】 ○1、2年生で既習の文法問題について、復習する機会を設け、スパイラルに学習していく。また、文法の示す意味だけでなく、使用場面や用法に注目させ、場面に応じて適切な表現ができるようにさせる。</p>	<p>【主体的で対話的な学び】 ○"Think-Pair-Share"の手法を用い、生徒同士の学び合い、主体的な学びを促進する。</p> <p>【発表・やりとりの活動】 ○1分チャットや発表時のやりとりを通じて即興的な活動を定期的に行う。 ○自らの経験をもとに考え、自分の意見を積極的に伝えられるよう、様々な形式の発表活動を取り入れる。</p>